

令和6年度第1回古賀市障がい者施策推進協議会 会議録

日 時：令和6年11月12日（火）19：00～20：30

場 所：サンコスモ古賀201・202研修室

参加者：委 員：占部委員、瓜生委員、小河委員、児玉委員、末村委員、夏目委員、松崎委員、
松本委員、三島委員、水上委員、山本委員、山下悦子委員、
山下実夫委員

（欠席：大塚委員、藤井委員）

傍聴人：0名

事務局：宮上部長、澤木課長、渡邊係長 ほか3名

1. 委嘱書交付

代表で保健福祉部長より瓜生委員の委嘱書を交付。小河委員は机上に事前配布。

《開会宣言》

15名中、2名が欠席。出席が13名となり、過半数を超えているため、本協議会成立。

2. 古賀市保健福祉部長あいさつ

お忙しい中、古賀市障がい者福祉施策推進協議会に出席いただき、また日頃からそれぞれの立場で本市の障がい者施策のご理解、ご協力をいただき心からお礼申し上げます。本日新たに2人の委員の方の委嘱をしたがあわせてお礼申し上げます。

また昨年度の本協議会においては第7期古賀市障がい福祉計画・第3期古賀市障がい児福祉計画の策定に委員の皆様にご多大なるご協力をいただいたが、本日は第4期障がい者基本計画や、昨年度までの福祉計画の進捗状況および実績についての報告となる。

本日、限られた時間ではあるが皆さんのご意見を伺いたいと思う。本日はよろしく願います。

3. 自己紹介

《委員、事務局 自己紹介》

4. 古賀市障がい者施策推進協議会について

別紙1に沿って、「古賀市障がい者施策推進協議会」「古賀市障がい者基本計画」「古賀市障がい福祉計画」「古賀市障がい児福祉計画」「古賀市障がい者差別解消支援地域協議会」について事務局より説明。

5. 「第4期古賀市障がい者基本計画（障がい者福祉プラン・こが）」の進捗状況について

資料1、2に沿って、事務局より概要説明。

委員：資料1の5ページ、「④地域における支援体制づくり、①他機関の協働による支援体制の構築」についてだが、庁内において高齢者、子ども、障がい、生活困窮の各担当部署が集まる支援機関連携会議を開催されているようだが、今は障がいだけでなくいろいろな課題を同時に抱えている方が多いのでよいことだと思う。これは個別ケースについて検討されているのか。

事務局：各分野からこのケースは共有した方がいいと考える世帯や個人の情報を共有する場となっている。その場でそのケースに対してどういう支援をするかといった話はしていないが、何かあったときに各分野で連携できるようにということで共有をしている。

委員：資料1、7ページ①防災・災害時の支援体制の充実について、前年も質問をしていて再度尋ねることになるが、災害の対応は古賀市では総務課を中心に行われているが福祉と共同で何か行われているか。例えば福津市では先日市内一斉防災訓練があった。その日に小学校も中学校もあわせて父兄が迎えに行くような訓練を行ったり、また市内のグループホームなどもその時に訓練を行ったりしている。昨年、古賀市がどのようなことを行っているか尋ねたら「古賀市でもそのようなことを行っていないか」といったような答えだったが、実際に何か実施されたか。また、施策の方向に「④古賀市避難行動要支援者避難支援プランに基づき」とあるが、具体的に避難行動要支援者避難支援プランの進捗状況を教えてほしい。

事務局：まず避難訓練についてだが、実際にグループホームや施設の方と一緒に避難訓練ができているかという現状古賀市では進んでいない。

委員：一緒に行われていなくてもよい。福津市でも施設でそれぞれ年間の予定を組んでいて、必ずしも避難所と一緒にいくということはない。市の動きに合わせて、福祉事業所や学校が、一体的に活用されているが、古賀市ではどうされているか知りたい。

事務局：防災マップの警戒区域等の中に所在がある事業所について、福津市はすでに始められているようだが、古賀市では令和6年4月1日から総務課で『災害避難計画』を提出いただく取り組みが始まった。それに伴って今対象エリアの事業所については計画の提出をお願いしているところで、計画の中に「避難訓練を実施いただき、その際は市に報告をする」というような一連の流れができている。実際、今年度の報告はまだあっていないようだが、例えば先ほどのように一緒に訓練したいといった要望があれば、総務課でもお手伝いできることがあるかも、との話は聞いている。

避難行動要支援者支援プランについては、障がい者基本計画のような計画とは違っており、避難行動要支援者に登録するまでの手続きなどが中心となっている。このプランに基づいて実際の要

支援者の方の個別計画を立てる作業は、民生委員にお手伝いいただき個別計画の策定を進めている状況。

委員：登録をされてる方は基本的にプランができていうことか。

事務局：要件に該当する方はその対象になるが、その中でまた同意いただいた方についてプランを作っている状況。

委員：登録されたご本人は支援内容を知っているか。民生委員や隣組の方も把握されているか。

委員：古賀市から民生委員に要支援者の調査依頼があり、9月から大体11月まで一人ひとり直接訪問し調査し、その調査票が事務局から区長にコピーが渡されるので、地域では民生委員と区長が把握している。対象であっても同意がないと調査はしていない。

委員：同意された方は皆さん調査しているということか。

委員：各行政区の民生委員が同意した方全員を調査している。

委員：質問ではないが、私は障がい者の保護者であり、古賀市内で精神疾患や引きこもりがちな方の支援をしているNPO法人、地域活動支援センターのⅡ型を1年前から運営している。社会資源の一つとして古賀市内にもこういったところがあるということを知っていただきたいので紹介したい。（地域活動支援センターの事業内容について紹介。）

委員：資料2の5ページの「障がい者生活支援センター咲」の円グラフについて、権利擁護の割合が全体の4分の1ほどあるようだが、相談の内容がどういったものか差し支えない範囲で教えてください。

事務局：虐待防止センターの業務も「障がい者生活支援センター咲」が兼ねており、権利擁護についてはその相談件数となる。実際に虐待通報の案件に対する継続的な支援のケースや、実際に虐待の判断とならない夫婦関係の相談であるとか、そういった内容も入っている。実数というより継続的な支援ということで割合的に多くなっている。

6. 「第6期古賀市障がい福祉計画・第2期古賀市障がい児福祉計画」の実績について

実績値の伸びが大きくなっている福祉サービス等について、資料3に沿って事務局より説明。

委員：就労継続支援A型で最低賃金が上がったということで、とても嬉しいことであるが、そのことでA型事業所の経営を圧迫してしまい、事業所が閉所していると聞いたが、古賀市の事業所で実際にそのような話があるか。

事務局：今のところ事業所からの相談はない。

委員：給料が上がっていくことは嬉しいが、A型事業所が閉所となると結局は障がい者が行き場を失うということになるので、何か手段がないかと思っている。

委員：障がい児通所支援事業の医療型児童発達支援や居宅訪問型児童発達支援は、例年実績が0件となっているが、今後もこういった見通しか。

事務局：現在取り組んでいる第7期古賀市障がい福祉計画および第3期古賀市障がい児福祉計画においても以降3年間は0人での現状を見込んでいる。現在は利用者がいないが、新規に希望される方がいらっしゃった場合は、計画に上がっていないから決定しないということではなく、希望があり事業所が受け入れられる状況であれば支給決定をしていくことになる。

委員：児童発達支援について最近増加傾向にあるということで、今後も増えていくことが予想されると思うが、行政負担、人員の不足を考えると、今後、体制強化等は計画されているか。

事務局：現在、障がい福祉係員としては昨年8名だったのが、今年度は会計年度任用職員ではあるが1名増の9名の配置となっている。人員に関しては今後も状況に応じて対応ができるように業務改善も考えながら業務を行いたいと考える。

7. その他

事務局より令和7年度の協議会開催予定、各委員の報償費についての案内。

委員より配布資料および協議会の開催時間について、来年度の実施予定のアンケートの対象者と実施方法について、古賀市障がい者差別解消支援地域協議会について、ご意見及び質問あり。

事務局：それでは改めて本日の会議を終了する。本日はありがとうございました。